こびとのおうちえんLetter

12月号

令和7(2025)年12月1日発行 第173号

11月は山の中でよく遊んだ。山の中は、きもちよくて空気がなんだか澄んでいる。ちょっとじっとりしてるときもある。落ち葉を足でかきわけ、すすむ。すべる。ふんばる。好きなところを選んで自由に歩くきよひとにつづいてけいごゆずききならあら！まひろやあみもついてくる！木もれ陽の中。おひさまのないときは、こわい、も感じて。木のぼりに集中する。倒木の一本ばしをわたり、つるにのぼり… ねころがる。急斜面をすべりおりる。おうちを作る。あるものであそぶ。そういうすべての体の感覚が研ぎすまされていく。いろんなコースに行ってみた。森の中は、すてきなあそび場。どんどんあそぼ。

みなぎのコーナー

ご縁に導かれ、皆様に温かく迎えていただき、山口に来て早1ヶ月。豊かな秋の恵みを味わいながら、(日本の秋は3年ぶりなのです…)あっという間に過ぎてしまうおうちえんでの1日。夜な夜なその日のきらめきのひとつぶひとつぶをひろい集め、書き留めては、翌朝のおひさまのひかりに、自然と口角があがっている私がいます。

おうちえんでは、日々が学びの連続です。みんなの瞳に映る私自身と向き合い、時に心の習慣とも対峙します。このひと月、特に対峙したのは、幼少期の私。(生い立ちを少々…) 徳島の豊かな自然の中で駆けまわり育ちました。保育所を4回移動し、小学校は転校、中学校も知人のいない他地区に進学しました。その場その場で様子を見て、「ここで求められる、評価される動き方」を無意識に探り、演じてしまう習慣を身につけてたんだな、という発見が今月ありました。おうちえんの子たちやスタッフさんの在り方から、ただ在るがままに、「やりたい、好き」を表現することがこんなにすがすがしく、心地良いことだと教えてもらいました。そして、そんなパッションは、自然と伝染してゆくのですね。

好きなことのひとつ、お散歩にくり出したある日、その日ご機嫌ななめだった年少さんたちが「ムカゴちょうだい」と、年中、年長さんに言い渡すかどうか悩む彼らにある子がひとこと。「いやだったらいやって、はっきり伝えたらいいんよ…？」と、さらっと言い放ちました。(まるでちいさなようこのよう)「は… そうか。」と、気持ちを伝え直す年中長さんたちの姿がありました。また、悔しさや悲しさから涙する子に対して、「いいんよ、思いきり泣いたらええ。」と声をかけるスタッフさんたちを見たことからも、「あ〜 みなぎって、ありのままの感情のひとつであるはずの悲しさ、悔しさ、いやだ、とかを"ネガティブで表現しない方がいいもの"として、かくしてきたんやなぁ〜」と立ち止まりました。

我知らず築きあげてきたよろい。おうちえんのみんなは、(スタッフさんふくめ)そんな私のよろいは見えてなくて、そのもっと奥の弱さややわらかい心を見て、包みこんでくれている感覚があります。日々、あるがままのワタシを味わいなおし、包みこむ日々です。ありがとうあふれる毎日です。

加藤碧渚

12月のペアレンツ・グループ

16日(月) 13:00〜15:00

場所 もみじのいえ

内容 フィーリンググループ

「今」の自分を丁寧に感じる時間をご一緒しましょう

参加の方は事前にご連絡下さい。当日の朝でもOKです。

11月はこんなことしました

- しいの木であそぶ
- キジのはこワナ作り
- むかごとりさんぽ
- 人魚、さめ、漁師ごっこ
- 山の広場でたき火(やきぐり)
- どんぐりでやじろべえ、こま作り
- 冬いちごつみ
- ぬいぬい
- 室積海水浴場の浜であそぶ(イワシとり！)
- カレー作り
- マラソン
- 神護寺へいく
- 赤ろ山〜柳井たんけん
- 柿もぎさんぽ
- カマキリさがしさんぽ
- 田布施の大岩へいく
- ちほのお人形屋さん！
- サツマイモほり
- 大王様の木にいく
- ピンクコースの山であそぶ
- 琴石山へのぼる
- 冬いちごジャム作り
- 箕山学習の森へいく
- パンケーキ作り

etc…

キッチンスタッフより

先月、うたはおうちえんで一日過ごした。小学校に入ってからも、ずっとおうちえんに行きたがっていた。学校の帰り道、うたに「絶対におうちえんに行きたい！」と強く言われたので、わかったよと返事をすると飛び跳ねて喜んだ。

うたは小学校で毎日頑張っている。誰よりも真面目に先生の話を聞いているらしい。懇談会の時に「いつも皆んなのお手本になっていますよ。どうしたらあんなにいい子になるんですか？すごいですね。」と褒められた。私は何もしていない。ただひたすらうたが頑張っているだけだ。頑張ってじっとして、頑張って先生の言うことを聞いて、頑張って周りに合わせている。いい子っていったい何なんだろう？

おうちえんで一日過ごして大満足で帰ったうたは、「明日は学校に行きたくない。」と言った。次の日も「今日は学校に行きたくない。休みたい。」と言った。私は、「学校行きたくないよね。おうちえん楽しかったんだね。でも、小学校にも行っておいで。」と言った。確かにおうちえんは楽しいし(実は結構厳しいのだけど)、自分のやりたい事ができる。だけど私は、小学校での経験も大切だと思っている。両方の世界を知る事で見えてくる事もあるから。

嫌々行った小学校から帰ってきて、何を言うかなー？と待ち構えていた私に、その日の楽しかった事をたくさん話してくれたうたでした。

濱村奈々

＿＿＿＿＿＿＿＿の様子をお知らせします。

おたんじょうび おめでとう!!

13日 ひろもりゆずきくん(6さい)

13日 いおからくくん(4さい)

冬休みは、12/27(土)〜1/4(日)です。1/5(月)〜スタートです。

12月のスタッフプラン

＊いっぱい動いてあそぼう！

- 8日(月) おべんとうのひ 〜弥山にのぼろう〜
  ※詳細は、メールにておしらせしたとおりです。
- おむすびの日…5(金)19(金)26(金)
- 12日(金)はおむすびはいりません
  ↑みんなでキッチンの日(うどん作り)

＊おべんとう、おむすびの準備よろしくおねがいします。

ようこのちょこっとおうちえん日誌

しいの実をひろうためのまきひろい。まひろが「すりっぱ、すりっぱ！」(杉っぱ…杉のはっぱのこと)っていいながら「もえるよ！」と言ってさがしてた。(11/4)

さんぽ中、シュロの葉をつけてサンバがはじまった。みなぎが「おさんぽサンバ」っていうのを即興でおどって、「おうちえんたのしいサンバ〜」「おさんぽはたのしいサンバ〜」「おさんぽ道はこわいサンバ〜」「坂道はゆっくりサンバ〜」ってうたいながらゆずきみなとまひろと歩いたらしい。おひさまかくれてちょっと暗い道をみなとがこわがると、みなぎが「おじいちゃんが、こわいとき笑えって言うとった」と言ってワッハッハーと言って歩いたって。(11/5)

あけびがたくさん。さゆきかいほがとり合い。「わたしよ！」「わたしよ！」まひろとらくがひいていた…♪(11/11)

室積の浜。りっかとおうちごっこ。「はい、クッキー」「おいしい？」「はい、ポテト」「おいしい？」「からだもしもしします」(※さとちゃんしたのしたいとよく言う)ねる。おきたらりっかのかわいいかおがドアップでほほえんでる。キュンキュン♥(11/14)

みなとの母Hちゃんが半日おうちえんで過ごした。こどもたちがけいどろしてるのでさそったら入った。みなとも一緒にやっていた。はじめてやったどろでタッチされて泣いた。泣いて、「ママー」となる。でも、その日Hちゃんはみなとが泣いてもブレないときめている。私も、みなとに近づいて、「ママはおうちえんをやりにきてるから、ようこが話きくわ」と言った。みなとはしばらく泣いたあと、けいどろはやめて、葉っぱをとってきておりょうりをはじめた。お花もとってきた。しずかに。「これおやつね」といって私のところにもってきた。次は、「これギョーザ」「ごはん」「しお、こしょうするね」「しょうゆかけるね」と言って。その後みつきとむかごとりにいくけど行く？とさそったけど、まだモクモクと1人であそんでた。

Hちゃんは、その様子もちゃんと見ながら、感じながらいした。そして思いきり走ったのがきもちよくて、こどもに戻ったみたいで！おわったら頭の中がクリアになってやる気がわいてきた、と言った。私もみなとがしっかり立っている姿を見られてうれしかった。(11/26)

神護寺。なおとはアリジゴク(うすばかげろうの幼虫)をほり出して手にのせてかんさつしてた。神護寺におちてるしいの実をたべてみおが「こっちがチーズ味で「こっちがバター味ね」」みおは「チーズ味の方がすきかな」たべくらべるとたしかに味がちがう！「チーズ味の方が濃くておいしい。」(11/7)あとで上見たら2本のしいの木(種類がちがう)たべて気づくってすごいー。